

2019年6月21日
大成建設株式会社
応用技術株式会社

大成建設の BIM 規格を応用技術が「BooT.one」として提供開始 Autodesk Revit アドインパッケージ提供により BIM 生産性の改善を支援

大成建設株式会社(本店:東京都新宿区、代表取締役社長:村田誉之、以下、大成建設)と、応用技術株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:船橋俊郎、以下、応用技術)は、Autodesk Revit ユーザに向けたアドインパッケージ「BooT.one」(ブート.ワン)を7月1日より提供開始します。

「BooT.one」は大成建設が社内で蓄積してきた「BIM^{※1}規格」のノウハウを応用技術の「to BIM^{※2}」ブランドで提供する Autodesk Revit^{※3}(以下 Revit)のアドインパッケージです。「BIM 規格」は、コマンドツール、テンプレート、ファミリ、活用ガイドラインの4つのカテゴリの総称で、「BooT.one」はこれらをパッケージ化した商品です。

BIM の普及が高まる昨今、各社の BIM 標準化は、従来の2次元 CAD の成果物と同等の成果物を生成することが重要視されています。これは BIM 本来の利点である整合性をもった情報生成を阻害する要因となっており、BIM の普及に影響を及ぼしています。一方、整合性を保った理想的な運用を目指す場合も、Revit のモデリングや設定の煩雑さが課題となり、利用者のスキルに依存する運用となっています。

今回提供する「BooT.one」は個人のスキルレベルに依存することなく、同じルールで整合した BIM モデルと図面の作成を目的として、大成建設内で長年にわたって開発運用されてきたノウハウを、広く Revit ユーザに提供します。これにより Revit ユーザの生産効率を大幅に改善することが可能になります。最初のリリースでは56コマンド、2,800ファミリの提供から開始し、サブスクリプションユーザに対して定期的にアップデートを行うことで、提供コマンド数、ファミリ数を順次追加します。

また、ユーザ間の活発なコミュニケーションの場を設け、「BooT.one」へのリクエストを積極的に収集し、製品に反映させることで「BooT.one」を Revit ユーザのデファクトスタンダードとなるよう提供していきます。

【販売目標】	初年度 1,000 ユーザを目標とする
【出荷開始日】	2019年7月1日
【販売価格】	180,000 円/年から
【販売チャネル】	応用技術株式会社から直接販売 (今後パートナー販売を開始予定)
【セミナーなど】	7月3日の東京を皮切りに、5日大阪、10日名古屋、17日福岡、19日札幌、24日東京、25日新潟、26日大阪にてセミナー開催予定 申し込みはこちらから https://tobim.net/seminar

- ※1: BIM: Building Information Modeling の略
※2: to BIM: 応用技術の BIM ソリューションブランド
※3: Autodesk Revit: オートデスク株式会社の販売する BIM ツール

【ロゴ】



BooT: 起動する/始動する/

one: 一つの世界/ワンモデル/オールインワン

●応用技術株式会社について

応用技術は 1984 年の会社設立以来、ものづくり支援や BIM, GIS を活用したソリューションサービス事業と、防災・環境分野を対象としたエンジニアリングサービス事業を両輪に、お客様の現場の課題解決に貢献できる企業となるべく、常に最先端の技術・製品・サービスをご提供できる企業として技術スキルを高めながら成長しています。応用技術はトランスコスモスの子会社としてデジタル技術の活用による「Digital Transformation」を推進する一方で、オートデスク株式会社のビジネスパートナーとして「Connected BIM」の提供を行っています。

【報道関係者お問い合わせ先】

大成建設株式会社

設計本部 設計品質技術部

BIM ソリューション室長

高取 昭浩

Mail: takatori@arch.taisei.co.jp

応用技術株式会社

事業戦略本部

Mail: tobim@apptec.co.jp

※本文記載の社名および商品名は、各社の商標または登録商標です